

足立区民生・児童委員協議会 第一合同地区協議会 研修会

新型コロナウイルスの影響により活動を制限して約1年半。この日は令和3年度に入り、第一合同の皆様が一堂に会する初の機会となりました。今回は「いま、求められている民生・児童委員活動と今後の展望について」というテーマで、足立区社会福祉協議会（以下、社協）地域福祉部の和田部長より講義が行われ、皆様所々深く頷きながら講義を聞いていました。後半はお楽しみプログラムとして風呂わく三さんによる漫談が行われ、テンポの良い語り会場は笑いで溢れていました。最後は社協より「民生・児童委員と社協のつながり」について話をし、今後も共同してまちづくりを行っていくことを確認し合いました。



講義を聞いている皆様の様子。講義ではコロナ禍で民生・児童委員に期待される5つの役割として「①気にかける、②声かける、③知らせる、④つながる、⑤つなげる」といった話が挙がり、皆様資料を見ながら真剣に話を聞いていました。



和田部長による講義の様子。70ページにも及ぶスライドを使い貴重なお話をされました。



足立区出身・在住の風呂わく三さんによる漫談。

取材日：令和3年10月5日(火)

参加者数：73名

取材メモ：コロナ禍により活動が制限されている中での貴重な機会でした。皆様の今後の委員活動に活かされることを願っております。（永島・岡林）

問合せ先：地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374